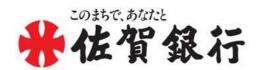
# THE BANK OF SAGA NEWS RELEASE



2025年11月25日

### 「手形・小切手の全面電子化」に向けた県内金融機関連携について

佐賀銀行(頭取 坂井 秀明)は、佐賀県内の金融機関と共同で「手形・小切手の全面電子化」に向けて、連携のうえ電子化支援に取り組むことといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記







### 1. 目的

現在、各産業界と金融機関は政府が2021年6月に公表した「成長戦略実行計画」における「手形・小切手の全面電子化」に取り組んでいます。

このたび、佐賀県内の金融機関が連携し、全面的な電子化の取り組みをさらに加速させることで、地域・お客さまの DX 促進、紙使用の削減による環境負担軽減に貢献いたします。

### 2. 取組内容

- ①「手形・小切手の全面電子化」に向けたお客さま向け共同リーフレットの使用による周知
- ②電子記録債権(でんさい)やインターネットバンキング利用による電子的決済手段への移行支援
- ③「手形・小切手の全面電子化」に関するセミナーの共同開催等

### 3. 連携金融機関(金融機関コード順)

佐賀銀行、佐賀共栄銀行、唐津信用金庫、佐賀信用金庫、伊万里信用金庫、九州ひぜん信用金庫、佐賀東信用組合、佐賀西信用組合

### 4. 連携開始日

2025年10月8日(水)

以上

《本件に関するお問い合わせ先》 業務統括部 担当: 久米・古川・蒲地 TEL 0952(22)2112 https://www.sagabank.co.jp

# 紙の手形・小切手

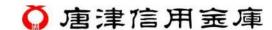


# 2027年3月末までに 紙の手形・小切手の交換が廃止されます。

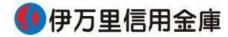
政府方針(※)をもとに、産業界・金融界が連携して手形・小切手の利用廃止 に向けた取組みを行っています。今すぐ、でんさい等の電子記録債権や インターネットバンキングによる振込等への切替えをご検討ください。

(※)「約束手形・小切手の利用廃止に向けたフォローアップを行う」(「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画

₩佐賀銀行













## **2**027年3月末までに 電子化しないとどうなるの?



- ▲ 事業者さまにおいて、これまでどおりの手形・小切手の利用ができなくなる可能性があるため、早期に電子的決済サービスへの切替えのご検討をお願いします。
- 政府方針を受けて、多くの金融機関では2027年3月を待たずに前倒しで 手形・小切手の取扱いを縮小する動きを示しています(手形帳・小切手帳の 発行終了や2027年4月以降を期日とする手形等の代金取立受付の終了等)。
- 事業者さまによっては、電子的決済サービスへの切替えには時間がかかる場合があります。



電子的決済サービスには 何があるの?



電子化することで、「コスト削減」「事務負荷軽減」「リスク低減」等のメリットがあります。

電子化のメリット



₩ 取立手数料









電子的決済サービスの導入は難しくないの?



▲・・・・・ かんたん3ステップで導入できます。



金融機関へ ご相談/申込

事業者さまの電子化支援や

資金繰り支援等のサポートを



取引先へご案内



でんさい等の電子記録債権・ インターネットバンキングによる 振込等への切替えを案内



社内の 導入準備



事務手続きや管理手順の見直し を行い初期設定

行っている金融機関もあり

